

国立教育政策研究所 令和7年度公開シンポジウム 事例報告② 滋賀大学における教育データサイエンス教育

2026年1月30日

滋賀大学教育学部長・教育学研究科長
久保加織

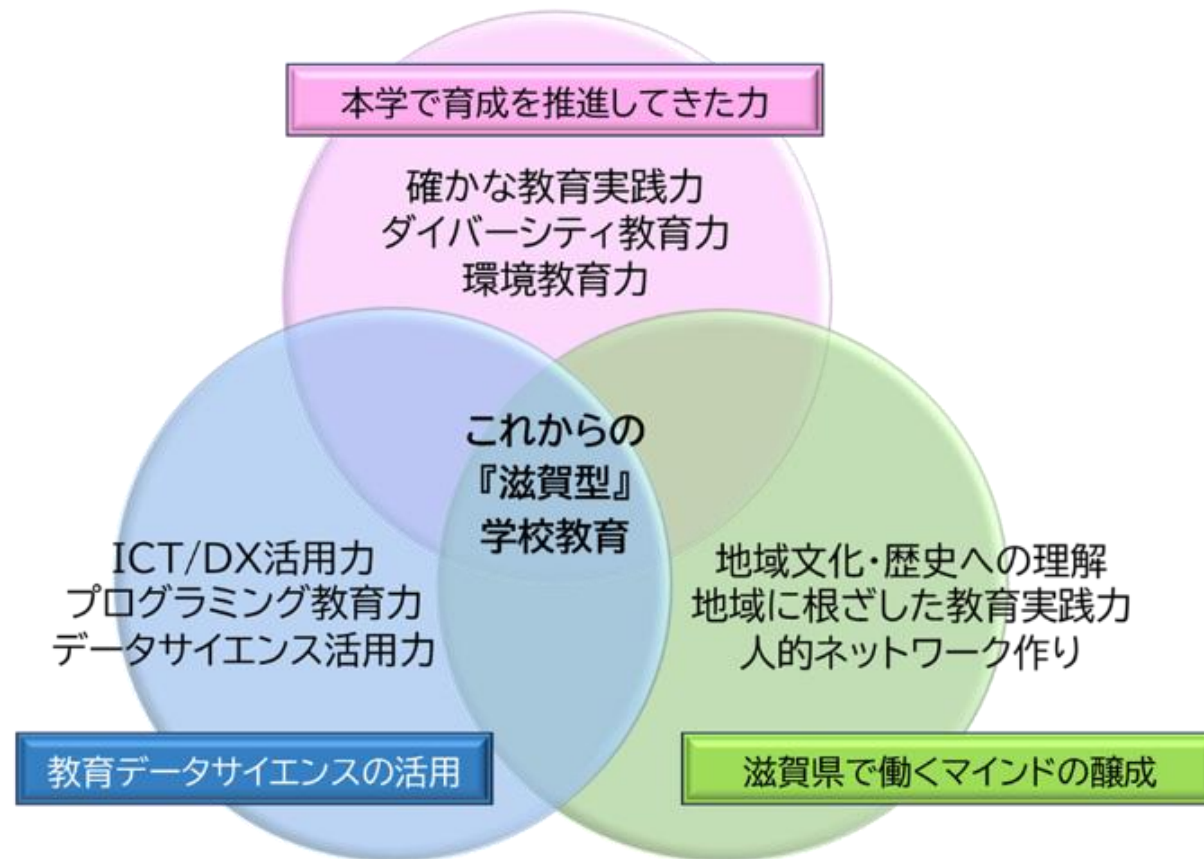


SHIGA UNIVERSITY

滋賀大学

Society5.0時代の教員養成・研修機能の強化

- ・探究：問題発見・課題解決
子どもの学びを問い直し続ける教師
- ・データサイエンス
データを根拠に設計・実装する教師
- ・ダイバーシティ
多様な子どもを理解し支える教師

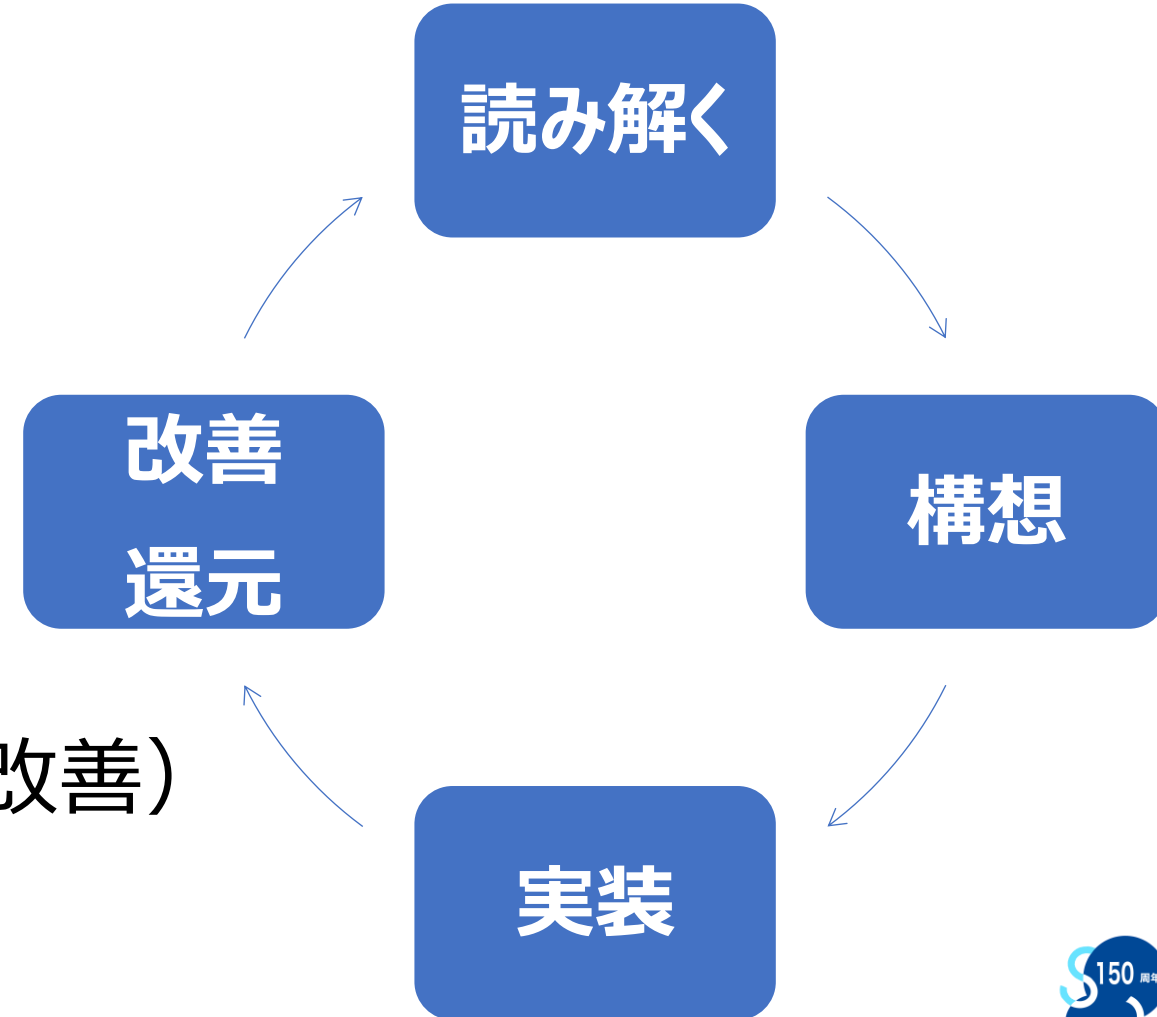


データに基づき、学校や授業の改善を構想し、 実装まで回せる教師を育てる

- ・予測困難な社会
- ・教育DX・AIの進展
- ・エビデンスに基づく学校改善と授業改善

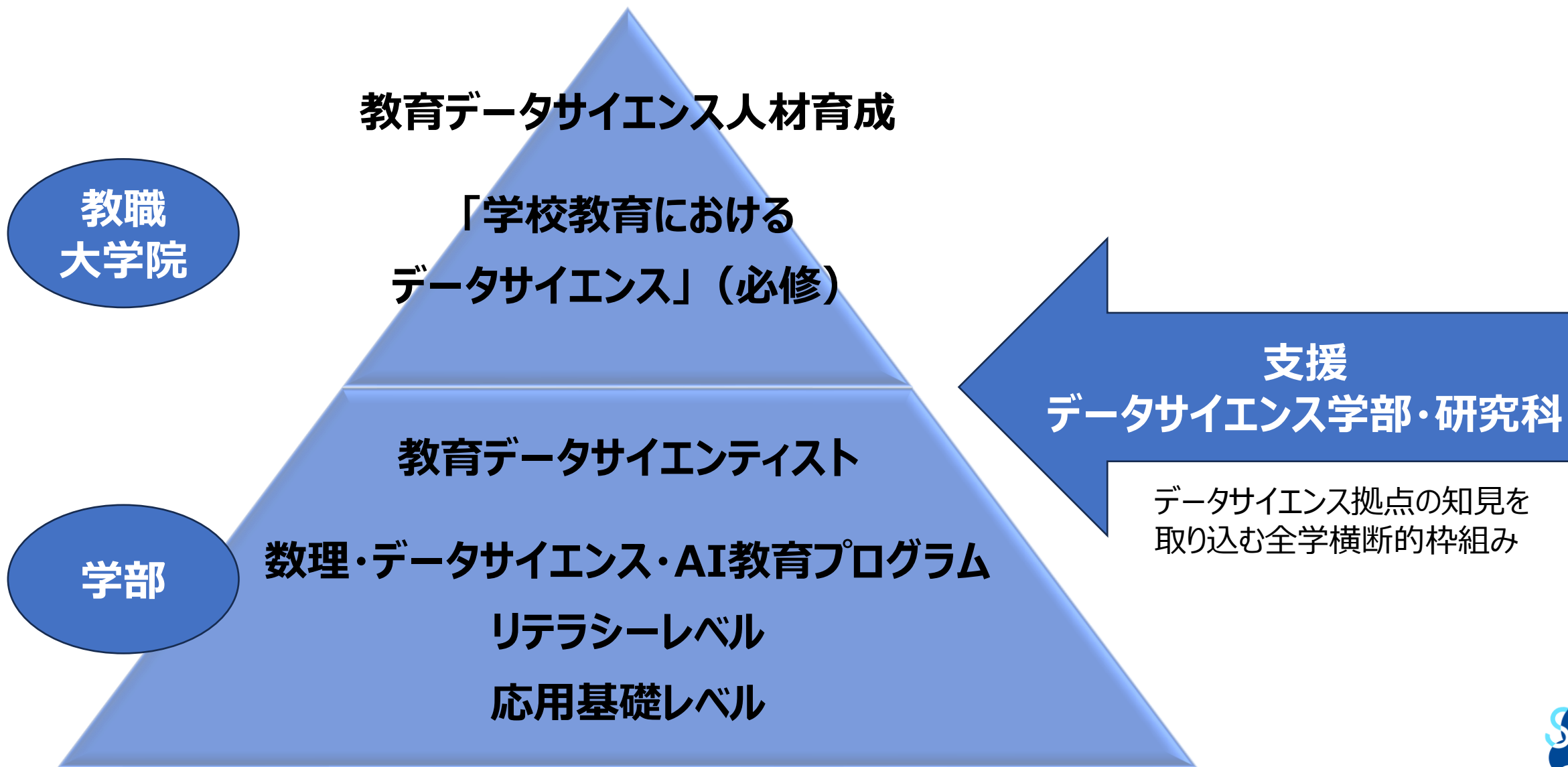
教育データサイエンスを「実践知」として捉える

- ・読み解く（データ理解・分析）
- ・構想する（改善の設計）
- ・実装する（現場での実践）
- ・改善・還元する（学校改善・授業改善）



「構想×実装」を担える教師

- ・教育データの理解
データリテラシー
- ・基本的な分析スキル
- ・教育改善への応用力



数理・データサイエンス・AI教育プログラム

- ・リテラシーレベル 全学共通教養科目「データサイエンス・AIへの招待」
- ・応用基礎レベル

教育データサイエンティスト

知識

データサイエンス・AI
プログラミング
情報技術



教える能力

(データを手がかりに教育改善を考える)

演習

教育データサイエンス演習

データサイエンス・AIへの招待演習

専門

教育データサイエンス入門

情報システム論

基礎

データ処理論

情報技術演習 I

数式処理論

プレマスター教育

学校教育におけるデータサイエンス（必修）

学校教育におけるデータサイエンス演習

教育データサイエンス人材育成プログラム（希望者・12単位）

教育実践のためのデータ分析

教育実践のためのデータサイエンス

発展実習

課題解決研究

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院構築事業
～Xプログラム～

Data Science

Education

データサイエンス研究科

データサイエンス・
AIイノベーション
研究推進センター

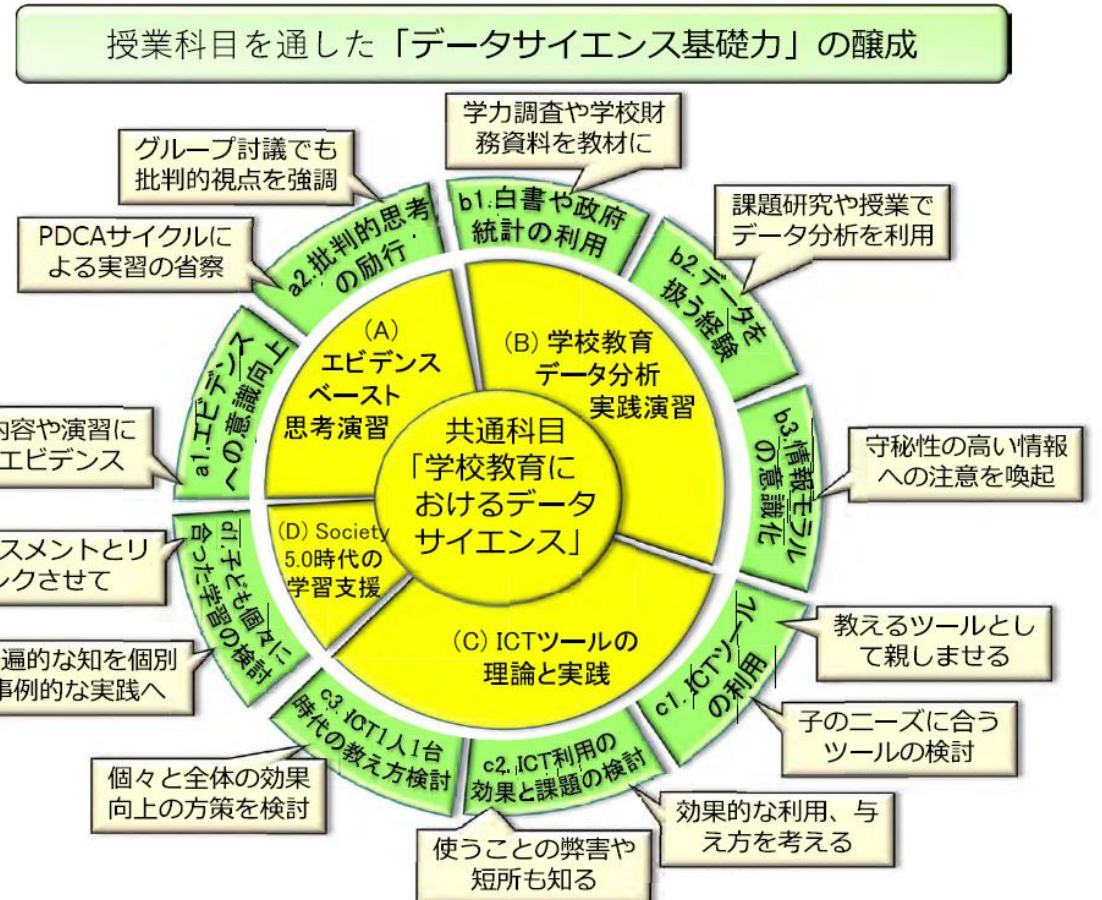
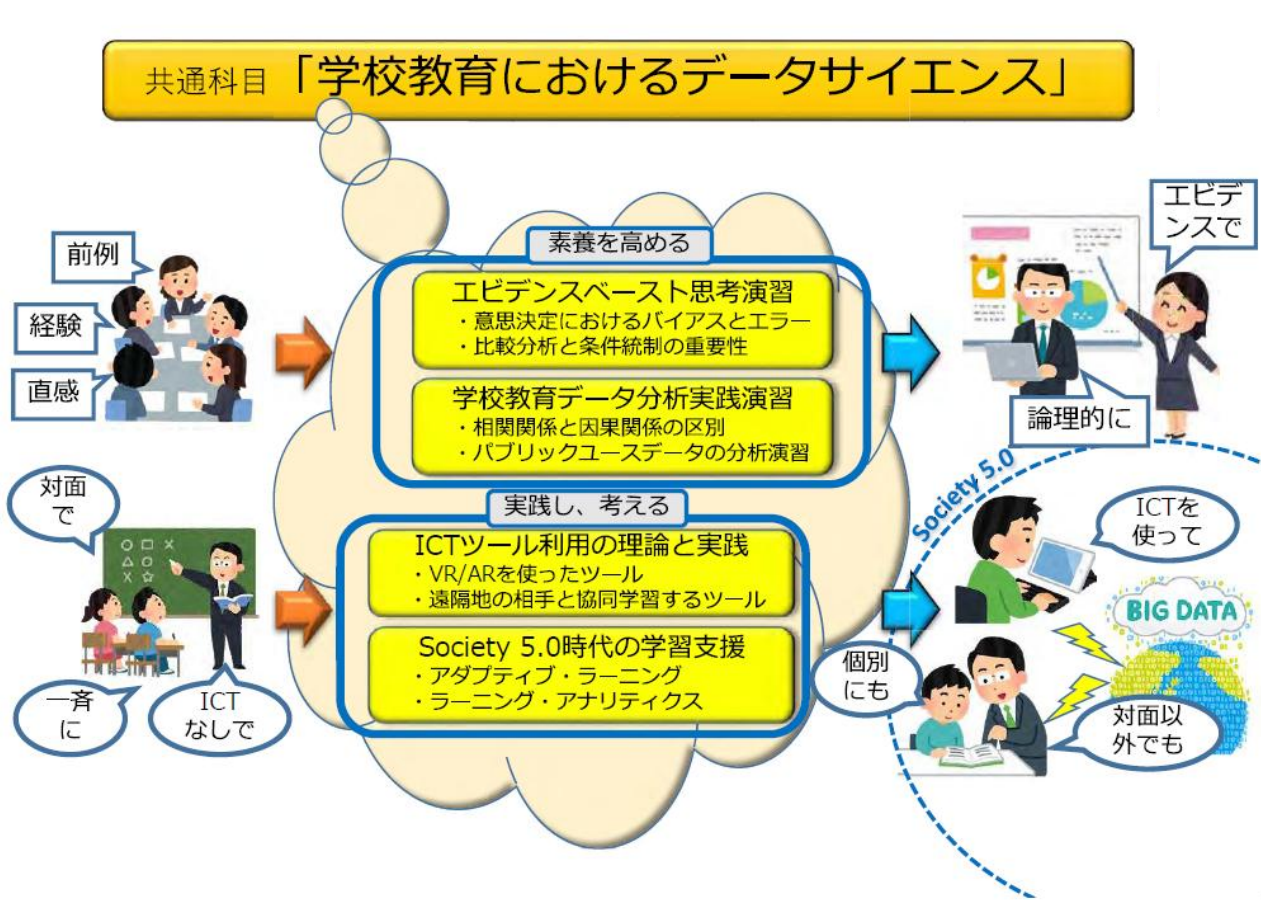
教職大学院

滋賀県教育委員会

連携
国立教育政策研究所
教育データサイエンス
センター

データサイエンス研究科との連携
教育データサイエンスの理論から実践
に至るカリキュラム

滋賀県教育委員会と連携
教職大学院での高度な専門的知識・技能
および実践的指導力の獲得



受講生：学びを現場でどう活用するかが課題

「学校教育におけるデータサイエンス演習」の開講（選択）

- ・学校現場に即したデータでの演習
- ・学校現場で判断する力（構想×実装）を養成

プレマスター教育

学校教育におけるデータサイエンス（必修）

学校教育におけるデータサイエンス演習

教育データサイエンス人材育成プログラム（希望者・12単位）

教育実践のためのデータ分析
教育実践のためのデータサイエンス
発展実習
課題解決研究

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院構築事業
～Xプログラム～

Data Science

Education

データサイエンス研究科

データサイエンス・
AIイノベーション
研究推進センター

教職大学院

滋賀県教育委員会

連携

国立教育政策研究所
教育データサイエンス
センター

データサイエンス研究科との連携
教育データサイエンスの理論から実践
に至るカリキュラム

滋賀県教育委員会と連携
教職大学院での高度な専門的知識・技能
および実践的指導力の獲得

【学内】 三者協働による指導体制 —課題解決研究の協働指導—

- ・教育学研究科研究者教員
- ・教育学研究科実務家教員
- ・データサイエンス研究科教員

【学外】 教育委員会との連携 —教育データサイエンス実践センター—

- ・現職教員ニーズの反映
- ・教員研修データの活用
- ・県と大学の循環

成果が見える仕組み（修了成果の保証）

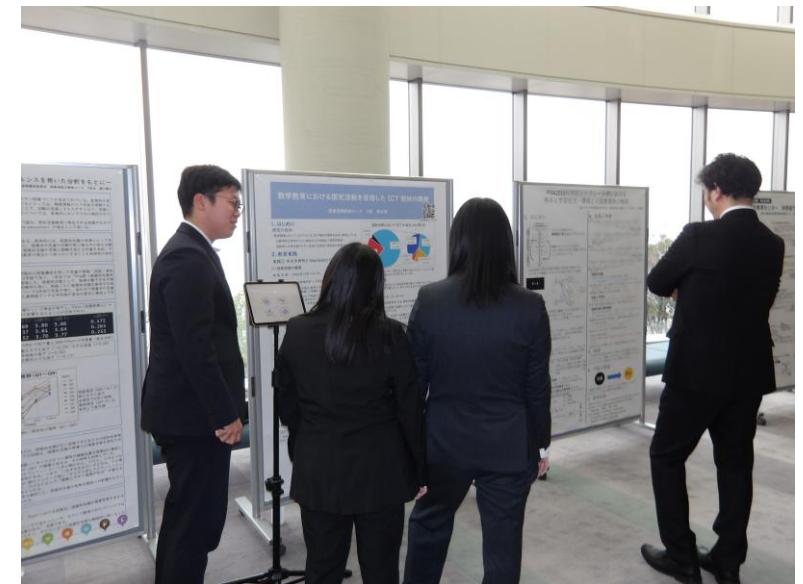
【学部】 デジタルバッジの発行「教育データサイエンティスト」

【教職大学院】 専修免許状への付記「教育データサイエンス」

「現場で使える」を重視

- ・フリーソフトの活用
- ・現場のデータを活用
- ・BYOD、普通教室での授業

学生の成果発表と研究成果の蓄積



2025年12月24日 本学主催シンポジウム
ポスターセッション

生成AI時代に対応する教育データサイエンス

- ・分析・省力化への活用
- ・教師の判断を支える位置づけ
- ・教育的利用の検討

ChatGPT Edu (OpenAI)
Copilot (Microsoft)
国産AI

持続可能な体制づくり

- ・教員の世代交代
- ・プログラムの定期的な見直し
- ・全学的支援体制

大学×教育委員会×データサイエンス拠点

- ・地域に根差したモデル
- ・他地域への展開可能性
- ・ディスカッションへの問い

データサイエンスを目的とするのではなく、子どもの学びや育ちに寄り添う手段として、教員養成に位置付ける



SHIGA UNIVERSITY